

令和8年度近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰

優秀賞

大阪市高速電気軌道株式会社 (大阪市西区九条南1丁目12番62号)

受賞者の取り組み

Osaka Metro夢洲駅における最新設備の導入 によるユニバーサルデザインの推進

Osaka Metro夢洲駅は、2025年の大阪・関西万博開催時や2030年に予定されているIR開業後の乗降客数を見据え、日本国内のみならず世界から訪れる人々を迎え入れるため、デザイン面に加え、安全性・利便性・快適性を追求し、最新鋭の技術と設備を備えた駅として設計された。

日本の鉄道駅としては初めて、カームダウン・クールダウンスペースが設置され、万博開催中に大変な混雑が予測されるなか、精神的な動揺やパニックが生じないように、あるいは生じた場合も気持ちを落ち着かせることのできる施設として機能を果たした。

その他、個室ごとに様々な機能を設けた完全個室型のオールジェンダートイレや、トイレの近くには個室型ベビーケアルームを2室、おむつ交換などのベビーケアのための自販機を設置し、デジタルサイネージやアプリでトイレの空き状況をリアルタイムで確認できるシステムも導入した。

万博へのメイン動線となる3連エスカレーターには、歩行防止を目的とした片側空け抑止機能(LED照射)を追加し、乗客の安全性の確保に努めた。

夢洲駅は、博覧会協会主催の「交通アクセスユニバーサルデザイン検討会」のワークショップにおいて、当事者参画のもと、多岐にわたる意見交換を行い、その内容を整備に反映させた。また、完成後も必要に応じて手直しを行うなど、継続的な改善を行った。

Osaka Metro夢洲駅



カームダウン・クールダウンスペース



内部にソファ設置

こちらは、気持ちを静めるためのスペースです。
皆さまのご配慮をお願いいたします。
Quiet space for people with sensory issues.
We appreciate your consideration.
여러분의 정애를 알고 있으면 마음이 편히 쉬 수 있는 공간입니다.
여러분의 따뜻한 배려에 감사드립니다.
这是一个用于镇静身心、重新聚焦的场所。
希望大家可以保持安静，不要打扰。



オールジェンダートイレ



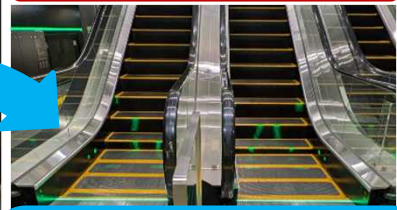
ベビーケアルーム



トイレ利用状況案内サイネージ



3連エスカレーター



LED照射により
「エスカレーターの片側空け」を抑止

講評

夢洲駅は大阪・関西万博の玄関口として、万博という大規模な混雑利用状況において、多くの来場者のスムーズな移動を支えた。また、カームダウン・クールダウンスペース、オールジェンダートイレに代表される先進的なユニバーサルデザインを高いデザイン性で実現した点が非常に高く評価できる。

中でも日本初となる鉄道駅へのカームダウン・クールダウンスペースの設置は、障害当事者への安心感の提供のみならず、その存在と、必要としている人がいることを広く知らしめたという点においても大いに意義が認められる。

設計から開業まで障害当事者とワークショップを重ねてきたプロセスや、閉幕後の利用変化についても柔軟なアップデートを試みる先進事例として、今後の駅整備のモデルとなることが期待される。